

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成24年2月16日(2012.2.16)

【公開番号】特開2010-148807(P2010-148807A)

【公開日】平成22年7月8日(2010.7.8)

【年通号数】公開・登録公報2010-027

【出願番号】特願2008-332625(P2008-332625)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】平成23年12月21日(2011.12.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

制御基板を内部に収容する基板ボックスが、係合機構を介して遊技機の裏面側に連結固定され、

前記基板ボックスは、制御基板の表面側を覆う表面側被覆領域と裏面側を覆う裏面側被覆領域とを有し、

前記係合機構は、係合部が形成された挿入片を有する第 1 機構部と、前記挿入片を受容して前記係合部を内部で係合させ得る挿入口を有する第 2 機構部とで構成され、前記遊技機の裏面側に第 1 機構部または第 2 機構部が設けられ、前記基板ボックス側に第 2 機構部または第 1 機構部が設けられた遊技機であって、

前記基板ボックス側に設けられた第 2 機構部または第 1 機構部が、該基板ボックスの表面側被覆領域にも裏面側被覆領域にも重なることなく該基板ボックスの周囲の位置に設けられていることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記基板ボックス側に設けられた第 2 機構部または第 1 機構部の前後方向の厚さが、前記基板ボックスの前後方向の厚さと同じまたはこれより小となっていて、前記基板ボックスより前方にも後方にも突出することなく設けられていることを特徴とする請求項 1 記載の遊技機。

【請求項 3】

前記基板ボックスの周囲の位置に、該基板ボックスを封印するための封印部が設けられ、前記基板ボックス側に設けられた第 2 機構部または第 1 機構部が、該封印部の前面部にも後面部にも重ならない位置に設けられていることを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記第 1 機構部の挿入片が前記第 2 機構部の挿入口に挿入された状態で該挿入口の少なくとも一部を覆う遮蔽部が設けられていることを特徴とする請求項 1 から請求項 3 のいずれかに記載の遊技機。